

ダムだより

No.45



2014.6.24

国土交通省
四国地方整備局
山鳥坂ダム工事事務所
TEL 0893-34-3000
FAX 0893-34-3358



鹿野川ダムと桜のある風景(4月撮影)

「ダムだより45号」目次

- 平成26年度の主な事業実施予定 P 2
- 山鳥坂ダム建設事業の進捗状況／Coffee break P 3
- 鹿野川ダム改造事業の進捗状況 P 4
- 「鹿野川湖湖面利用ルール」について P 5
- 鹿野川ダム現場見学会を行っています／
鹿野川ダムより出水期に向けてお知らせ P 6
- 生活再建相談所のご案内／イベント紹介(その1) P 7
- 樹齢150年の桜を保全／イベント紹介(その2) P 8

平成26年度の主な事業実施予定

山鳥坂ダム建設事業

水没予定地にお住まいの皆様のご生活再建、地域振興を最優先に、引き続き用地の補償を進めていくとともに、付替道路関連の工事を行ってまいります。

また、ダム、付替道路関連の測量設計等も引き続き行います。

平成25年度予算	平成26年度予算
17.4億円	29.0億円

項目	主な実施予定内容
用地	湛水地、付替県道等の用地取得 等
工事	付替県道工事及び工事用道路・現道拡幅工事 等
業務	水理水文観測、地下水調査、環境調査(動物、植物等)、地質調査、道路設計、橋梁詳細設計(見の越第一橋等)、用地調査 等

鹿野川ダム改造事業

トンネル洪水吐本体工事、選択取水設備関連の工事を継続して実施します。

また、貯水池の水質改善を図るため、貯水池上流に堆積した土砂の掘削を引き続いて行うとともに、すでに運用している曝気循環装置5基に加え、昨年度新たに設置した深層曝気装置、高濃度酸素水供給装置の運転を開始します。

平成25年度予算	平成26年度予算
69.2億円	85.9億円

項目	主な実施予定内容
工事	トンネル洪水吐本体工事、選択取水設備工事、流木処理、堆積土砂掘削 等
業務	水理水文観測、水質調査、地下水調査 等

山鳥坂ダム建設事業の進捗状況


6月より、主要地方道小田河辺大洲線（現県道）の部分拡幅、敷水地区の工事用道路及び付替県道工事に着手しており、今後これに続いて下敷水地区、見の越地区でも道路工事を行っていく予定です。工事の施工にあたり、工事用車両の通行等によりご迷惑をおかけしますが、何卒ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

岩谷自治センター付近



入船橋下流付近



Coffee break  ちょっと一息。ダムについて楽しく学ぼう。

ダム豆知識～台湾で活躍した日本人土木技術者～

最近のテレビでは海外で活躍する日本人を紹介する番組が多いですが、今回は台湾で活躍した土木技術者とダムをご紹介します。

台湾は四国の約2倍の大きさで、四国と同じく渇水や大雨、地震などの自然災害に度々みまわれてきました。そんな台湾で100年ほど前に活躍した日本人がいます。

八田與一（はったよいち）という人物をご存じでしょうか？

與一は1910年、24歳のときに台湾に渡り、当時の技術を駆使し、現地の人々と協力して東洋一（当時）の農業用の烏山頭（うさんとう）ダムを完成させました。ダムの完成により不毛の大地に命が吹き込まれて農地が潤い、60万の人々に恩恵をもたらしました。與一の命日には地元の人々によって慰霊祭が催されており、彼は今もお台湾の方々に愛されています。



写真：水をたたえた烏山頭ダム



写真：ダムを眺める與一像には花束がたえない

参考：日台の架け橋・百年ダムを造った男

鹿野川ダム改造事業の進捗状況

現在、トンネル洪水吐本体工事及び選択取水設備等の工事を同時並行で進めています。

トンネル洪水吐本体工事に関しては、ダム湖からトンネルに水を取り込む呑口部において、34本の鋼管杭を円筒形になるように順次建て込んでいます。この建て込み作業が終わった後、円筒形の内部を掘削して空間をつくり、トンネルを掘って貫通させる予定です。

また、全長457mの洪水吐トンネルは、呑口部の作業が続いていることから下流側から443mの地点で一旦掘削作業を終了し、トンネルの壁を覆うコンクリートの打設工事を行っています。

一方、選択取水設備等の工事では、ダム湖側で既設取水塔の撤去作業、ダム下流面側では低水放流管の設置を行っています。

現場周辺道路においては、工事で発生した土砂等の運搬や資機材搬出入のためご迷惑をおかけしておりますが、ご理解ご協力のほど、よろしくお願いいたします。



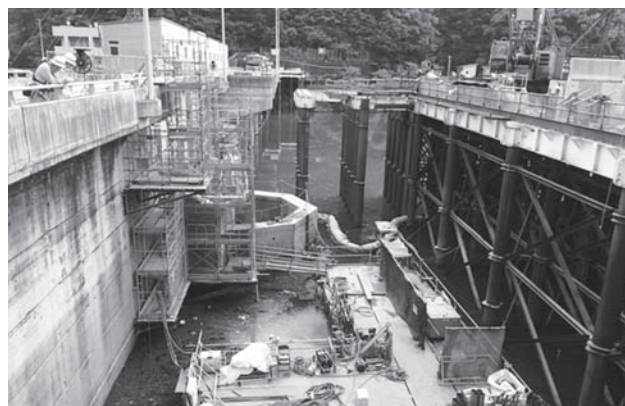
トンネル吐口部(下流側切土面より)



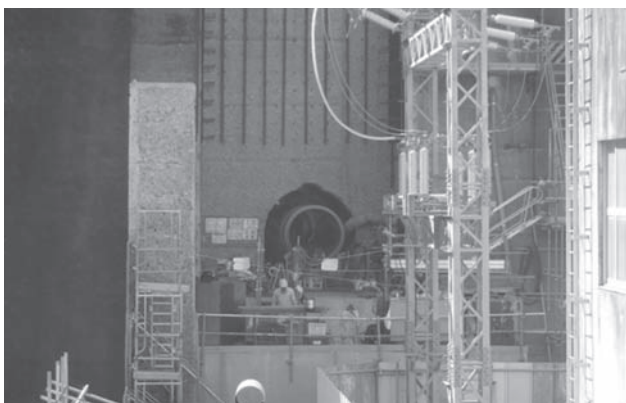
トンネル内部覆工コンクリート打設



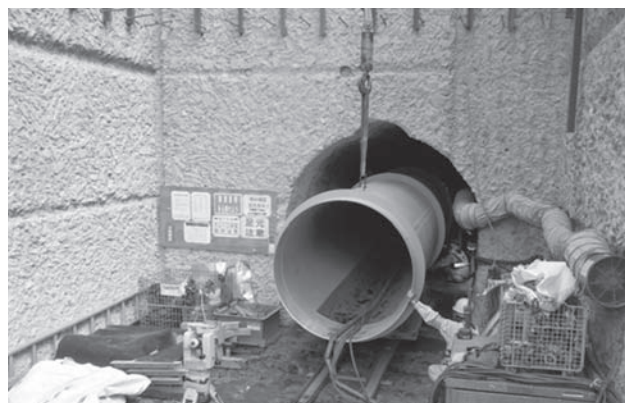
呑口立坑・鋼管杭建込部掘削状況



ダム湖側既設取水塔撤去状況



ダム下流面低水放流管設置状況(遠景)



ダム下流面低水放流管設置状況(近景)

鹿野川湖湖面利用ルールについて

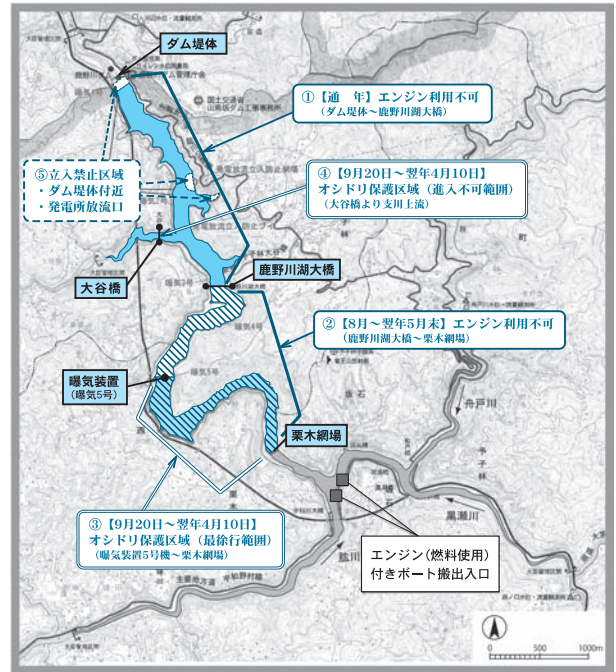
前号で「鹿野川湖湖面利用ルール」を策定したことをお知らせしましたが、本号では「湖面利用マップ（図-1）」を掲載してルールのポイントをご紹介します。

1. 利用形態ごとの利用区域の設定

図-1のとおり、そう艇ボートやカヌー、釣りボート（手漕ぎ、バッテリー使用）などのエンジン（燃料使用）付きボート以外の利用範囲は、1年を通じて立入禁止区域を除いて全域で利用することが出来ます。また、エンジン（燃料使用）付きボートの利用範囲は、8月1日から翌年5月31日までは栗木網場より上流側で利用することが出来ます。ただし、6月1日から7月31日は栗木網場から鹿野川湖大橋までの間の利用も可能となります。

2. オシドリの保護区域の設定

鹿野川湖は、我が国有数のオシドリ飛来地となっていることから、この貴重な環境を保全するため、越冬期間である9月20日から翌年4月10日までの期間でオシドリの保護区域を設定しました。栗木網場から5号曝気装置までの区間においてオシドリを確認した場合には、できるだけオシドリから離れて静かに走行するなどのご配慮をお願いします。また湖面の幅の狭い大谷橋から支川上流側の区間については、この期間に進入することはお控えください。



- ①【通 年】エンジン（燃料使用）付きボートの利用不可（ダム堤体～鹿野川湖大橋）
- ②【8月1日～翌年5月31日】エンジン（燃料使用）付きボートの利用不可（鹿野川湖大橋～栗木網場）※6月1日～7月31日はエンジン利用可
- ③【9月20日～翌年4月10日】オシドリ保護区域（本区域は、最徐行して、オシドリを発見の際は対岸を航行すること。）
- ④【9月20日～翌年4月10日】オシドリ保護区域（本区間【大谷橋より支川上流側】には進入しないこと。）
- ⑤【通 年】立入禁止区域（ダム付近【ダム網場～ダム堤体】、発電放流立入防止網場、発電放流立入防止ブイ）

図-1 鹿野川湖湖面利用マップ

3. 入湖証の発行

鹿野川湖でボート等を利用される場合には、事前に届出書を提出し入湖証の発行を受けて下さい。なお、手続き等は右の図-2のとおりです。

この他の詳細内容については、鹿野川ダム管理庁舎、道の駅「清流の里ひじかわ」等にて配付している「鹿野川湖湖面利用ルール」の冊子でご確認ください。

鹿野川湖を訪れるすべての方々にこのルールをご理解いただき、適切な利用が図られることで鹿野川湖と周辺地域の魅力がよりいっそう高まるよう取り組んでまいります。

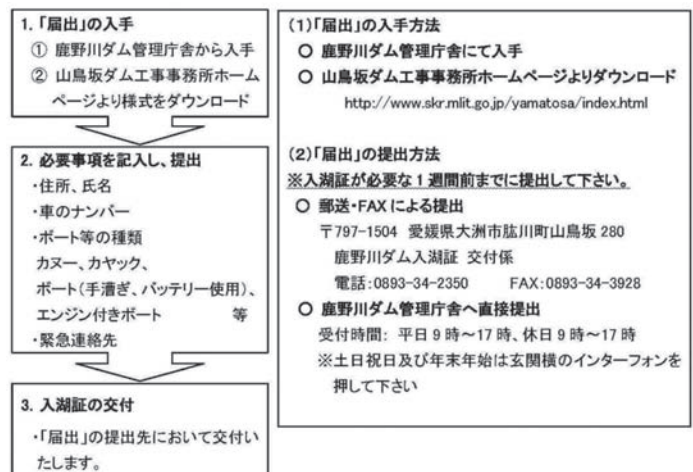


図-2 湖面利用の届出の方法

鹿野川ダム現場見学会を行っています

山鳥坂ダム工事事務所では、鹿野川ダムの現場見学会を行っています。これまでに多くの方々にお越しいただいており、最近では鹿野川ダム上流にある坂石地区の皆様や下流肱川沿いの菅田地区婦人会の皆様などに見学していただきました。見学会では、普段見ることの出来ないダムの操作室やダムの中にある点検用の監査廊（かんさろう）、そしてもちろんわが国最大級の断面積を有する洪水吐トンネルをご覧いただけます。実際に皆様の目で大規模な工事の迫力を体験していただくとともに、鹿野川ダムの役割や操作の方法などを少しでも多くの皆様を知っていただきたいと考えています。

今後も随時、現場見学のご参加を受付していますので、お気軽にお問い合わせください。

問合せ先 山鳥坂ダム工事事務所 事業計画課 TEL 0893-34-2350



鹿野川ダム操作室の見学
(平成26年5月24日(土)菅田地区婦人会の皆さま)



わが国最大級のトンネル洪水吐工事現場(坑口部)にて
(平成26年3月10日(土)坂石地区の皆さま)

鹿野川ダムより出水期に向けてお知らせ

鹿野川ダムでは、梅雨及び台風シーズンを迎えるにあたり、関係機関との情報伝達や洪水時のダム操作など、的確に対応できるように努めてまいります。

鹿野川ダムから放流を行う際は、放流の2時間前にFAXで関係機関へ通知を行い、放流の1時間前には警報（サイレン）を鳴らして、河川利用者に周知いたします。また、警報車（2台）により肱川河口までの下流警報及び河川巡視を実施しております。放流している時は、川の水が増えますので十分注意をお願いします。

また、急な降雨等によりダムからの放流が夜間・早朝になる場合もあり、何かとご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いします。

なお、鹿野川ダムの情報を知りたい場合は、0893-34-2891に電話を頂くと音声アナウンスにより、貯水位、全流入量、全放流量等の情報を聞くことができます。また、インターネットからも情報を確認することが出来ますのでご活用下さい。

【国土交通省 川の防災情報】

パソコン向けサイト

<http://www.river.go.jp/>

携帯電話向けサイト

<http://i.river.go.jp/>



生活再建相談所のご案内

○新しい生活再建相談員をご紹介します

生活再建相談員として2年間お世話になりました今宮雅司さんに代わり、今年4月から元肱川支所地域振興課長の源田政幸（げんだまさゆき）さんが来ています。

山鳥坂ダム生活再建相談所に、毎週月・火・木・金曜日の8：30から17：15まで常駐していただきますので、ダム事業等に関する相談等がございましたら、お気軽にお立ち寄りください。

〈山鳥坂ダム生活再建相談所〉 大洲市肱川町山鳥坂3412番地 電話(0893)34-3595

○税理士・司法書士の無料相談を行います

山鳥坂ダム建設事業のために必要な用地を提供いただく皆様を対象に、税金や登記手続き等の無料相談を山鳥坂ダム生活再建相談所において以下の日程で行いますので、お気軽にお越しください。

〈税理士の相談日等〉

- 相談日 平成26年4月～平成27年1月の第1・3水曜日（年末年始以外の週）
- 時間 【午前の部】9時～12時 【午後の部】13時～16時
- 内容 税に関する相談
- 税理士 四国税理士会大洲支部の税理士が交代で相談にあたります。

〈司法書士の相談日等〉

- 相談日 平成26年4月～平成27年3月の第2・4水曜日（年末年始以外の週）
- 時間 13時～16時
- 内容 相続登記手続き等の法律に関する相談
- 司法書士 大洲市周辺の司法書士が交代で相談にあたります。

- ・相談日には山鳥坂ダム工事事務所用地課職員又は肱川支所治水第2課職員も常駐していますので、あらかじめ山鳥坂ダム生活再建相談所に電話でご確認の上お越しください。
- ・上記の無料相談以外での相談、また具体的な手続きを依頼される場合は、料金を個人でご負担いただくこととなりますので、あらかじめご承知おきをお願いします。

イベント紹介（その1）

○ドラゴンボート大会

県内各地から多くのチームが参加される恒例のドラゴンボート大会が、今年も8月3日（日）に鹿野川ダム湖で開催されます。船先に龍の頭をかたどったボートに1チーム10名が乗り込み往復450mのタイムを競うもので、渾身の力でオールを漕ぐ風景はなかなかの迫力があります。なお、山鳥坂ダム工事事務所でも大会にあわせ『鹿野川ダム見学会』を行う予定にしていますので、ぜひお越し下さい。



樹齢150年の桜を保全 (鹿野川湖に堆積した土砂が活用されました)



西予市坂石の客（きゃく）神社には樹齢150年といわれる桜がそびえ立っています。



桜の幹の根元に1mの高さで土を盛っています。この土が桜の保全に活かされています。

鹿野川ダムでは、平成20年度よりダム湖（鹿野川湖）の水質改善のため湖底に堆積した土の掘削を実施しています。

掘削した土は畑土として人気があり、これまで地元の高校や福祉施設等にて園芸・栽培に利用されています。

今年4月、坂石地区の方から、桜の保全に鹿野川湖の土を活用したいとのお話をいただき、客（きゃく）神社（野村町坂石）にある樹齢150年と言われる桜の幹の根元に土を盛りました。神主さんによると、これにより土壌からの吸水を助け、弱った桜が元気になるとのことでした。この桜がこれからも樹齢を重ね、客神社の名木として人々から愛され続けることを願っています。いまから来年の開花が楽しみです。



坂石地区で土を掘削している様子です。バックホウ（油圧ショベル）を使って湖底を掘削しています。

◆掘削した土の活用方法を募集しています。◆

「このように使えるのでは？このように使いたい！」といったアイデアをお持ちの方はぜひご連絡ください。また、底泥の除去・有効利用のお問合せもお気軽にお電話ください。

ご連絡・お問合せ先：鹿野川ダム管理庁舎 TEL0893-34-2350

イベント紹介（その2）

○山鳥坂鎮縄神楽

8月13日（水）、愛媛県の無形民俗文化財に指定されている「山鳥坂夜神楽」が、岩谷小学校跡において開催される予定です。この鎮縄神楽（しめかぐら）は享保年間（約300年前）より伝承されているそうで、お盆の時期の恒例行事となっています。地元の方はもとより帰省された方など多くの観客で賑わいます。是非ともこの幽玄の世界を体験してみたいかがでしょうか？

